

第15回オープンフォーラム／第3回JICA-JISNASフォーラム 開催のお知らせ

農学国際教育協力研究センター（ICCAE）は、第15回オープンフォーラム兼第3回JICA/JISNASフォーラム「開発途上国における農業生産・流通・消費を結ぶ国際協力を目指して―“売れる農産物”の生産に向けた研究・協力のあり方―」を開催いたします。今回のフォーラムでは、昨年12月開催の第2回JICA-JISNASフォーラムで取り上げた「農業セクターにおける国際協力とマーケティングの重要性」について、より深い議論と課題抽出を目指します。詳細につきましては、近日中にセンターホームページにてご案内いたします。

開催日：2015年3月16日（月）

場 所：八重洲通りハタビル（東京都中央区八丁堀1-9-8）

JR東京駅（八重洲口）より徒歩約10分

日比谷線八丁堀駅（A5出口）より徒歩2分

時 間：13：00 — 17：30（12：30受付開始、後半に交流会有）

着任挨拶

田 和 正 裕 国際協力機構（JICA） 農村開発部 次長
客員教授（プロジェクト開発研究領域）
（任期：2014年10月1日～2015年3月31日）



10月から客員教授を務めております。同時に国際協力機構（JICA）では、農村開発部で、南アジアとアフリカ地域を担当しております。名古屋大学では、平成20年10月から平成22年9月までの2年間、大学院環境学研究科で国際環境人材育成プログラムの特任教授を務めておりました。その際、農学国際教育協力研究センター（ICCAE）の先生方と農学知的支援ネットワーク（JISNAS）の構想から立ち上げまでの業務に携わっておりました。再び、ICCAEにおいて、山内章センター長や諸先生方とともに仕事に携われることは、非常に光栄な事であり、大変嬉しく思います。

このセンターでは、プロジェクト開発研究領域において「国際化推進に向けた我が国大学と国際研究機関／国際協力機関との連携の枠組みと方策に関する研究」を行う予定です。微力ではありますが、与えられた期間、精一杯務める所存です。どうぞよろしくお願い致します。

略歴 1963年生れ。大阪府立大学大学院農学研究科博士前期課程修了後、国際協力事業団（JICA：現・国際協力機構）に勤務。インドネシア事務所、企画部、無償資金協力部、農村開発部、国際協力人材部にて新規事業の企画立案、プロジェクト管理と国際協力人材の確保活用に従事。現在、農村開発部次長兼農業・農村開発第二グループ長として、南アジア及びアフリカ地域の農業・農村開発並びに援助協調を担当。

オープンセミナー（2014年6月～2014年11月）

回数	日時	テーマ	講師	所属
2014年度 第3回	2014年 6月9日	国際教育協力の最新の議論について ー成果重視とポスト2015年の教育アジェンダ	吉田 和浩	広島大学教育開発国際協力研究センター長／教授
第4回	7月14日	ウガンダにおける精米業の発展と農業機械化の可能性	時田 邦浩	国際協力機構 国際協力専門員
第5回	9月29日	バングラデッシュにおける稲作の現状と課題： 非生物的ストレス克服に向けた研究	Shelley Israt Jahan	バングラデッシュ農業大学准教授（バングラデッシュ）／ 農学国際教育協力研究センター客員准教授